

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	会計学2 (Accounting 2)					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目コード	2037322-118								
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

会計とは、特定組織の経済活動について貨幣額を用いて記録・計算し、その結果を報告するシステムである。本講義ではそのなかでも企業が株主や債権者等に向けて報告をすることを目的とする財務会計分野を扱う。会計と簿記は理論的側面と技術的側面で表裏一体のものであるが、会計学1・2では、理論的側面に絞って学んでいく。

会計学2では会計学1で学んだ基礎的知識をもとに、応用的な論点である外貨建取引、税金、連結財務諸表、基礎的な経営分析を学ぶ。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 を養う

③ 授業の進め方・指示事項

適宜、企業会計基準等を参照するので、下記の参考図書（会計法規集）を持参するかスマートフォン等により参照できるように準備しておくこと。できれば会計法規集は入手して欲しい。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

会計学1と共に履修すること。会計学1の内容が理解できていないと2の内容は理解できない。本科目は会計（特に財務会計）について理論的側面から論じるものであり、技術的側面から論ずる簿記関係の科目（簿記入門1・2、商業簿記1・2、工業簿記1・2等）と共に学ぶと良い。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 外貨建取引や連結財務諸表等の応用論点が理解できている。
- (ii) 有価証券報告書をもとにした基礎的な経営分析ができる。

⑥ テキスト（教科書）

桜井久勝・須田一幸（2021）『財務会計・入門（第14版）』有斐閣

⑦ 参考図書・指定図書

中央経済社編（2019）『新版 会計法規集（第11版）』中央経済社
桜井久勝（2019）『財務会計講義（第20版）』中央経済社

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 外貨建取引や連結財務諸表等の応用論点が理解できている。	70%	15%						85%
(ii) 有価証券報告書をもとにした基礎的な経営分析ができる。	10%	5%						15%
(iii)								
フィードバックの方法	小テストについては適宜解説等を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
適宜、国税専門官試験の問題等に触れながら、内容の理解と定着が行われるようにしたい

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス	教科書	前記の内容について復習しておく	60分
2	資金の管理と運用① （現金預金、有価証券）	教科書、会計法規集	現金預金の範囲と、有価証券の範囲や評価について調べておく	60分
3	資金の管理と運用② （キャッシュ・フロー計算書、デリバティブ）	教科書、会計法規集	キャッシュ・フロー計算書の内容と意義、デリバティブの種類について調べておく	60分
4	国際活動① （外貨建取引）	教科書、会計法規集	外貨建取引の処理方法について調べておく	60分
5	国際活動② （在外子会社の財務諸表、国際会計基準）	教科書、会計法規集	在外支社・子会社の財務諸表の換算方法と、IFRSの意義について調べておく	60分
6	税金と配当① （税金と剰余金の配当）	教科書、会計法規集	企業は納める税金の種類、剰余金の配当について調べておく	60分
7	税金と配当② （配当制限、剰余金の処分）	教科書、会計法規集	債権者保護としての配当制限、積立金の設定などの剰余金の処分について調べておく。	60分

8	企業集団の財務報告① (連結財務諸表とは)	教科書、会計法規集	企業集団としての財務諸表である連結財務諸表とは何かについて調べておく	60分
9	企業集団の財務報告② (連結財務諸表の内容)	教科書、会計法規集	連結財務諸表の種類と内容について調べておく。	60分
10	企業集団の財務報告③ (セグメント情報・合併)	教科書、会計法規集	セグメント情報とは何か、企業の合併とは何かについて調べておく。	60分
11	財務諸表による経営分析① (分析の方法と注意)	教科書	経営分析を行っていく際に中止すべき点とは何かについて調べておく。	60分
12	財務諸表による経営分析② (収益性の分析)	教科書	収益性の分析について、その分析手法とデータの取り方を調べておく。	60分
13	財務諸表による経営分析③ (安全性の分析)	教科書	安全性の分析について、その分析手法とデータの入手方法等を調べておく。	60分
14	問題演習①	教科書	前期の範囲も含めて、教科書の内容を復習しておく。	60分
15	問題演習②	教科書	後期に学んだ範囲について教科書の内容を復習しておく。	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。進度に応じて、国税専門官の「会計学」過去問などを小テストとして実施する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

--

実務経験と授業科目との関連性

--